

事業概要

令和5年度



社会福祉法人 昭徳会
ケアハウス高浜安立

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあわせ
「幸福」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

1. ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
2. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
3. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
4. わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助
技術の向上に努めます
5. わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよ
う努めます

社会福祉法人 昭徳会 職員行動指針

- 第1条 いつも笑顔で接します
- 第2条 謙虚な姿勢で接します
- 第3条 同じ目線で向き合います
- 第4条 いつも前向きに取り組めます
- 第5条 学ぶ姿勢を持ち続けます
- 第6条 地域との繋がりを大切にします
- 第7条 心と身体を大切にします
- 第8条 小さな気づきを大切にします
- 第9条 チーム力を高めます
- 第10条 感謝の気持ちで接します

ケアハウス高浜安立倫理綱領

前 文

ケアハウス高浜安立は、入居者が常に心身の健康を保持し、またその知識と経験を活用して、生き甲斐をもって安らぎと潤いのある生活をしていくことを目的に「ケアハウス高浜安立倫理綱領」を制定し、実践していきます。

この倫理綱領は、昭徳会の基本理念たる「幸福（しあわせ）」をその根本精神とし、ケアハウス高浜安立に関わるすべての人々が共有する理念であり続けることを目的に研鑽が重ねられ、時代および状況に応じてさらに発展すべく改定されていくものであることを確認します。

公平・公正な施設運営

入居者が安心して生活を送れるよう、人権を尊重し、自己点検を強化し、公平・公正な開かれた施設運営を目指します。

入居者と共に歩む

入居者と共に歩むという基本姿勢を堅持し、入居者と職員が互いに対等な立場で話し合いながら、相互の信頼と誠意に基づき、合意と納得の上で、可能な限り入居者の希望に沿った運営の実現を目指します。

自己決定権の尊重

入居者の自己決定の意志を尊重し、日常的に自己実現していく機会を増やしていけるように援助します。また、入居者が一人の人間として尊厳をもって生活を送れるよう、自由とプライバシーが的確に守られる環境を維持します。

自立生活の継続

サービスの提供にあたっては、入居者の生活を制限することは必要最小限にし、入居者が望むならば可能な限りケアハウスでの生活を継続できるよう地域の在宅医療・保健・福祉サービスを最大限活用しつつ、安全かつ快適な自立生活が維持できるよう援助していきます。

生き甲斐の創造

入居者がこれまで培ってきた知識と経験を最大限に活かしていけるよう、

また新しい生き甲斐を創造し、生きている喜びを実感できるよう援助していきます。

地域の中でともに暮らす

施設が持っている様々な社会資源を可能な限り地域に開放・提供し、地域の方々と入居者の相互理解を深め、ともに地域の中で支え合い、励まし合いながら暮らしていけるケアハウスを目指します。

たゆまざる努力

入居者および社会の信頼に応えるため、常に誠意をもって質の高いサービスを提供できるよう、研修・研鑽に励み、不断の努力を重ね、資質の向上に努めます。

目 次

1. 施設の概要

(1)施設の種別	1
(2)施設の名称及び所在地	1
(3)設置主体及び経営主体	1
(4)事業の目的	1
(5)事業開始	2
(6)規模及び構造	2
(7)組織	2
(8)職員配置	3
(9)年間行事計画	3
(10)月間行事計画	4
(11)日課	4

2. 入居者の状況

(1)入居者の年齢状況	5.6
(2)入居前の住居地状況	7
(3)入居前の住居形態	8
(4)身元引受人との続柄	8

3. 生活状況

(1)年間行事実施状況	9
(2)特定施設お楽しみ外出	10
(3)一般型生きがい外出	10
(4)クラブ活動実施状況	11

4. 外泊者・来訪者の状況

(1)外泊者の状況	12
(2)外来宿泊者の状況	12

(3) 来訪者の状況	13
5. 健康状況	
(1) 入院の状況	14～16
6. 入居者の要支援・要介護認定状況	
(1) 全入居者の要介護認定状況	17
(2) 特定施設入居者の要介護認定状況	18
(3) 一般型入居者の要介護認定状況	19
7. 地域交流事業	
(1) ボランティア及び慰問の状況	20
(2) 地域行事・地域活動への参加の状況	20
(3) 施設設備の地域開放の状況	20
8. 防災対策の状況	21
9. 職員研修の状況	22
10. 令和5年度事業計画	23
居室平面図	24
平面図	25

1. 施設の概要

(1) 施設の種別

- ①ケアハウス（軽費老人ホーム）
- ②特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

(2) 施設の名称及び所在地

<名称> ケアハウス高浜安立

<所在地> 〒444-1335

愛知県高浜市芳川町一丁目2番地48

T E L (0566) 52-7311

F A X (0566) 52-8680

E-mail kea-takahama@syoutokukai.or.jp

U R L <http://www.syoutokukai.or.jp/carehouse/>

(3) 設置主体及び経営主体

社会福祉法人 昭徳会

(4) 事業の目的

①ケアハウス（軽費老人ホーム）

老人福祉法に基づき、60歳以上で、自炊ができない程度の身体的機能の低下等が認められ、又は高齢のため独立して生活するには不安がある方で、家族による援助を受けることが困難な高齢者を対象として、住みよい住居を提供し、快適にして心豊かな暮らしを維持できるよう必要な便宜を供与し、もって入居者が健康で明るい生活を送れるよう援助することを目的とする。

②特定施設（介護予防）入居者生活介護

介護保険法に基づき、要支援1から要介護5の介護認定を受けられたケアハウス入居者を対象として、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上のお世話、機能訓練等を提供することにより、要介護状態になった場合であっても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助することを目的とする。

(5) 事業開始

① ケアハウス（軽費老人ホーム）

平成8年4月1日

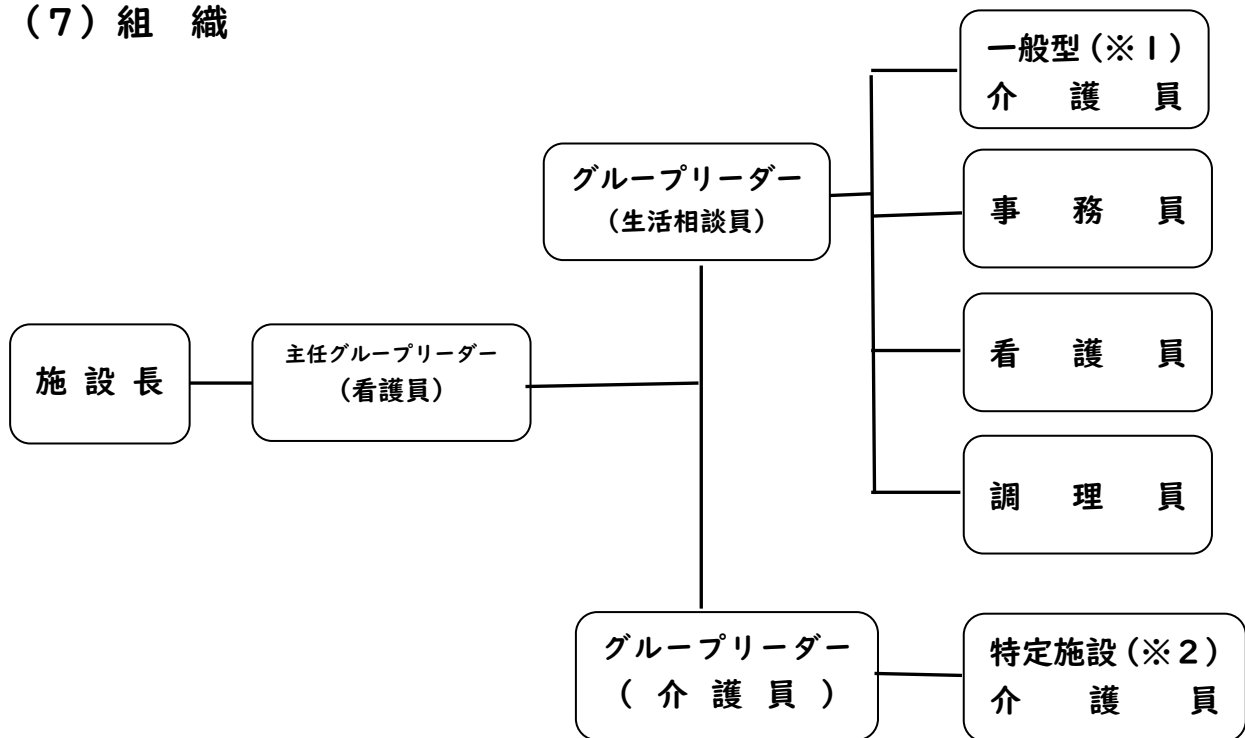
② 特定施設（介護予防）入居者生活介護

平成22年4月1日

(6) 規模及び構造

- ・入居定員：50人
- ・敷地面積：2,001 m²
- ・建物延面積：3,180.43 m²（居室面積 22.05 m²）
- ・建物構造：鉄筋コンクリート・鉄骨造ステンレス鋼板葺
陸屋根スレート葺 6階建

(7) 組織



※1 『一般型』・・・介護サービスなし（従来型のケアハウス）

※2 『特定施設』・・・介護サービス付き（特定施設入居者生活介護）

(8) 職員配置

(令和5年4月1日現在)

職務	指定基準(人)	現員(人)	備考
施設長	1	1	
事務員	1	1	
生活相談員	1	2 (1)	
計画作成担当者	1	1	生活相談員が兼務
看護職員	1	2 (1)	
機能訓練指導員	1	1 (1)	看護員が兼務
一般型介護員	1	1	
特定施設介護員	9	12 (6)	
調理員		5 (5)	
その他		1 (1)	宿直代行
計	16	27 (15)	

注：() は非常勤の再掲

(9) 年間行事計画 (令和5年度)

※毎月誕生日会を実施

月	内容		
	合同	一般	特定
4月			お楽しみ外出
5月		生きがい外出	お楽しみ外出
6月	開山会		お楽しみ外出
7月		生きがい外出	お楽しみ外出
8月	納涼会		お楽しみ外出
9月	敬老祝賀イベント 防災フォーラム	生きがい外出	お楽しみ外出
10月	渡し場まつり		お楽しみ外出
11月	介護の日イベント	生きがい外出	お楽しみ外出
12月	忘年会／年末大掃除 クリスマス会／もちつき会		お楽しみ外出
1月	祝祷会／初詣外出／新年会	生きがい外出	お楽しみ外出
2月	節分会		お楽しみ外出
3月	桃の節句イベント／花見外出	生きがい外出	お楽しみ外出

(10) 月間行事計画 (令和5年度)

曜日	対象者 (※1)	内 容			
		第1週	第2週	第3週	第4週
月曜日	共同	グループ回想法	手工芸クラブ	グループ回想法	手工芸クラブ
火曜日	共同	移動理美容	書道クラブ 室内レククラブ		書道クラブ 室内レククラブ
水曜日	共同	ボランティア催し	移動販売	法話	移動販売
木曜日	一般	一般型クラブ		買い物送迎	
	特定	回想法		回想法	
金曜日	一般		介護予防クラブ		介護予防クラブ
	特定		介護予防クラブ		介護予防クラブ
土曜日	共同	ボッチャクラブ	お散歩クラブ	ボッチャクラブ	お散歩クラブ
日曜日	共同	渡し場海岸清掃	カラオケ		カラオケ

※1 『対象者』について

『共同』・・・「一般型入居者」と「特定施設入居者」の両者が参加対象

『一般』・・・「一般型入居者」のみが参加対象

『特定』・・・「特定施設入居者」のみが参加対象

(11) 日 課

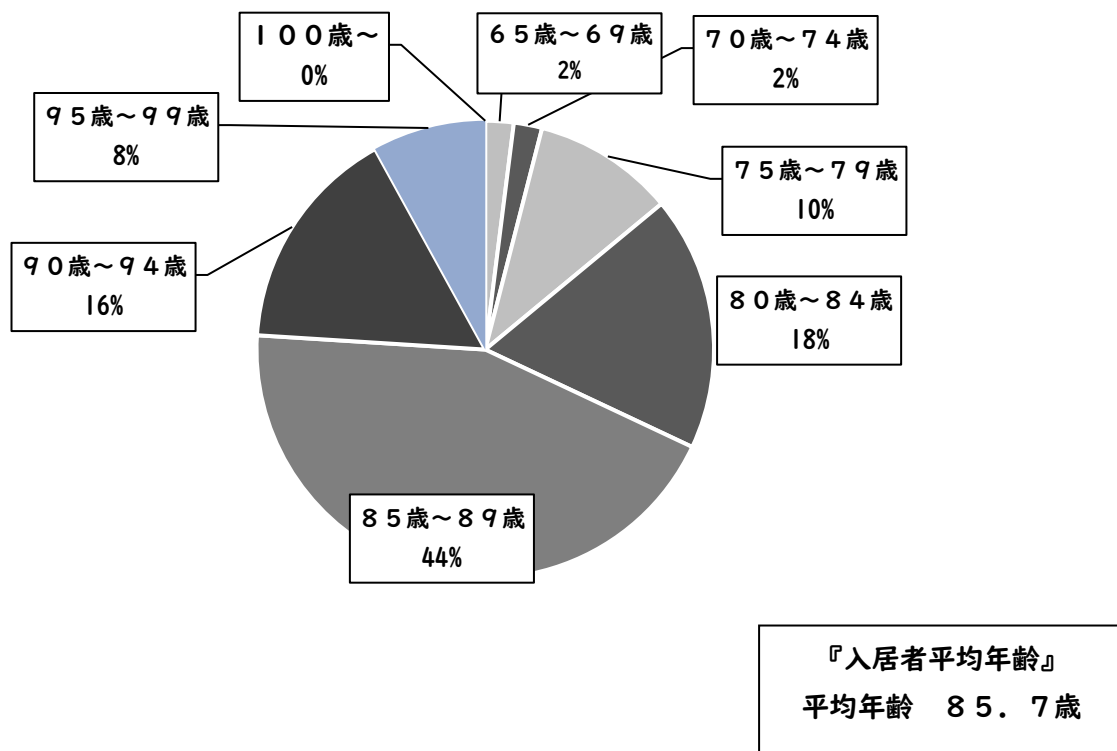
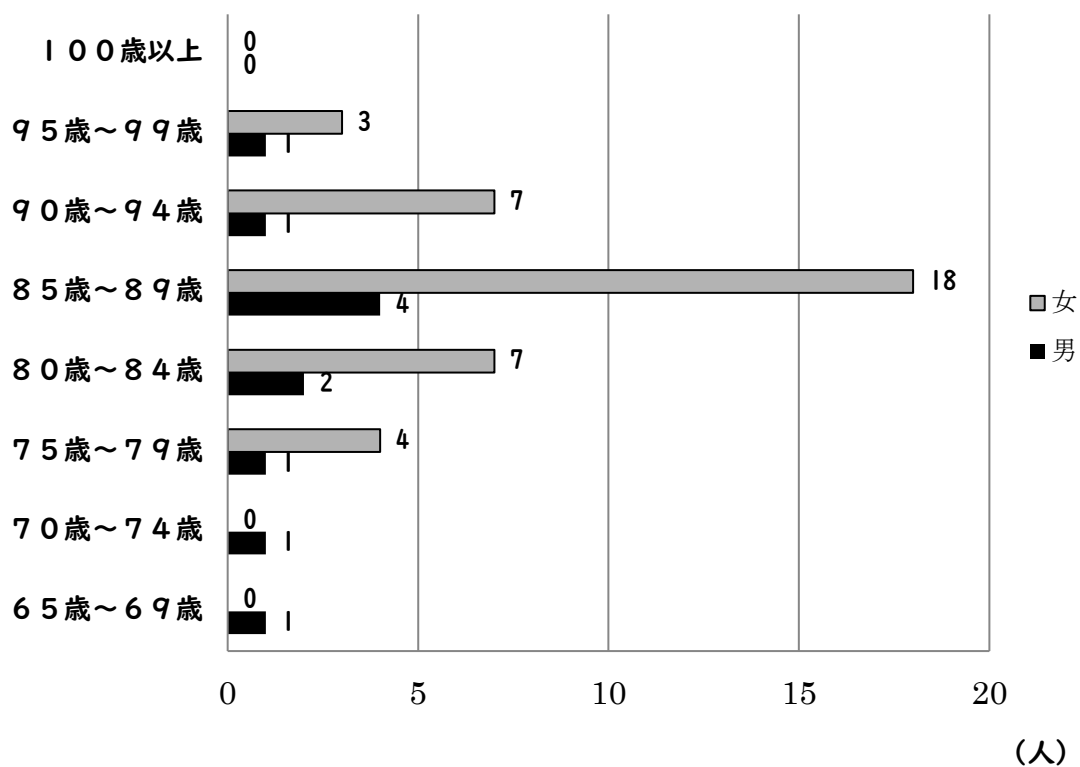
時 間	内 容
7:10~8:30	朝 食
9:35~9:55	体 操
10:00~11:30	学習療法 (希望者のみ) 生活援助 (※2) クラブ活動等
11:40~13:00	昼 食
14:00~15:00	クラブ活動等
15:15~17:00	特定入居者 入浴
16:00~16:30	体 操
17:40~19:00	夕 食
17:30~20:00	一般型入居者 入浴

※2 『生活援助』

特定施設入居者対象の家事援助サービスのこと。居室清掃、洗濯、衣類整理などを職員が手伝いながら、入居者と一緒に家事を行うサービス。

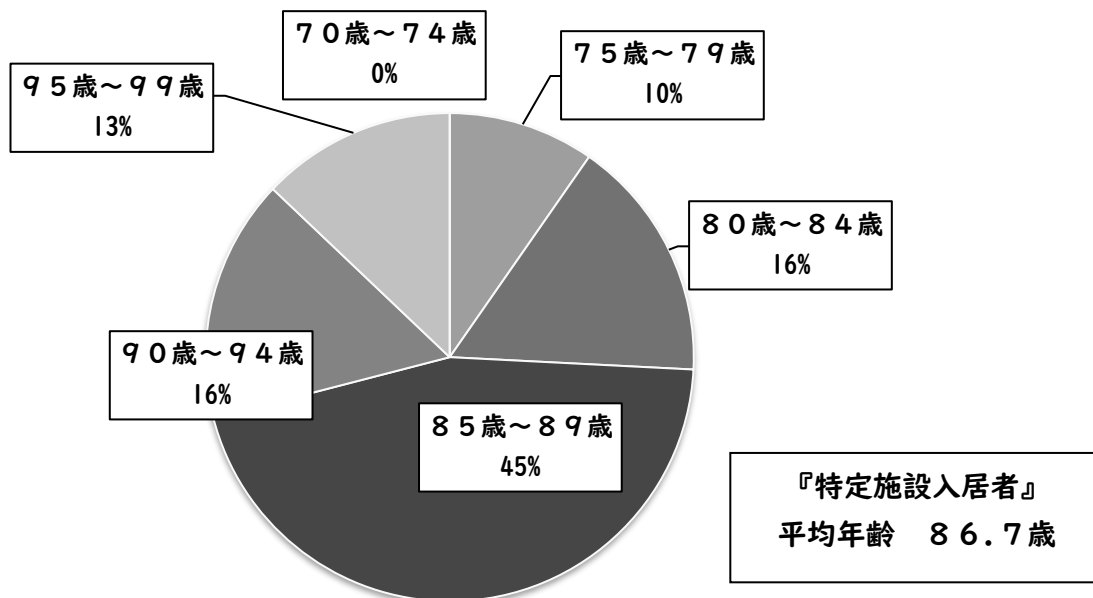
2. 入居者の状況

(1) 入居者の年齢状況 (令和5年4月1日現在)



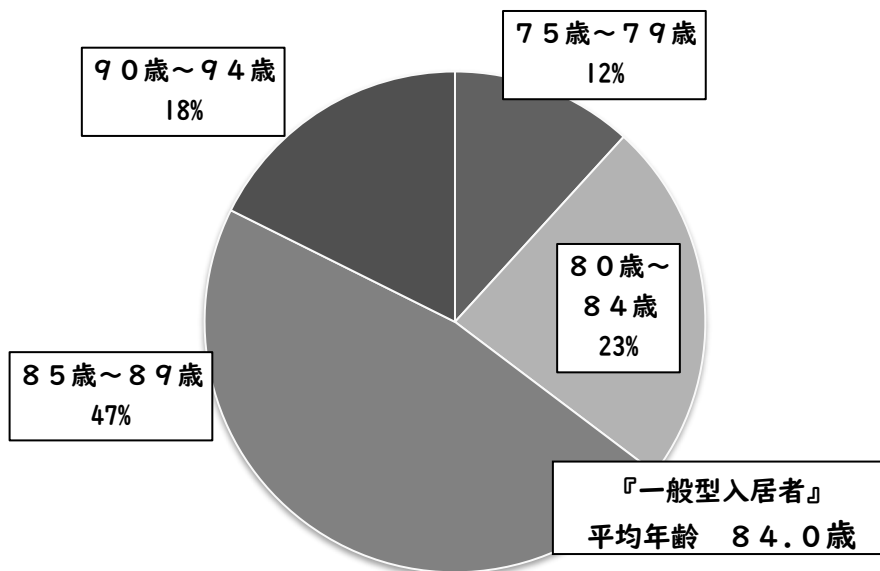
① 特定施設入居者年齢状況

(令和5年4月1日現在)



② 一般型入居者年齢状況

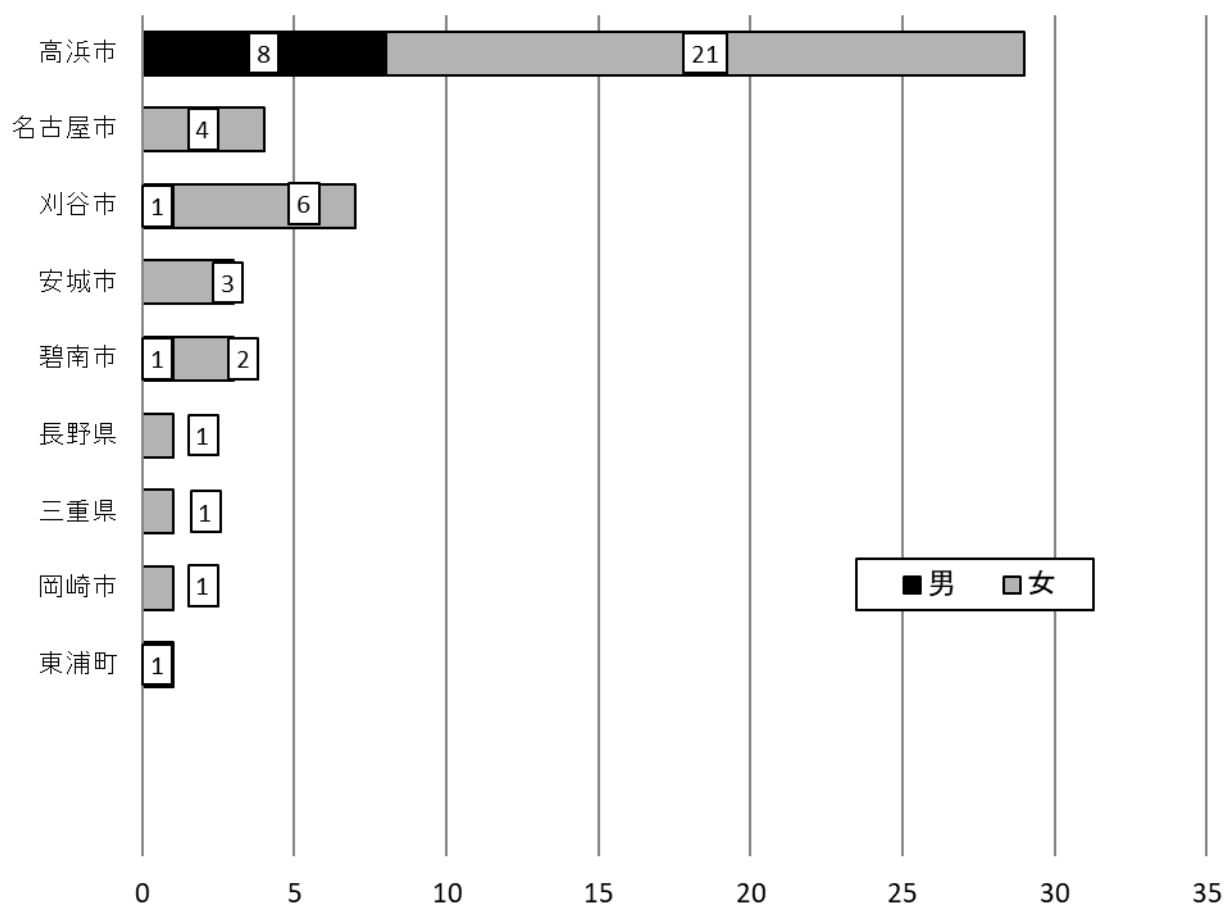
(令和5年4月1日現在)



令和5年4月1日現在の現員は50人。入居者の平均年齢は、85.7歳（男性：83.1歳 女性：84.2歳）である。前年度の平均年齢86.1歳より若干下がった。最低年齢は67歳、最高年齢は98歳。

(2) 入居前の住居地状況

(令和5年4月1日現在)



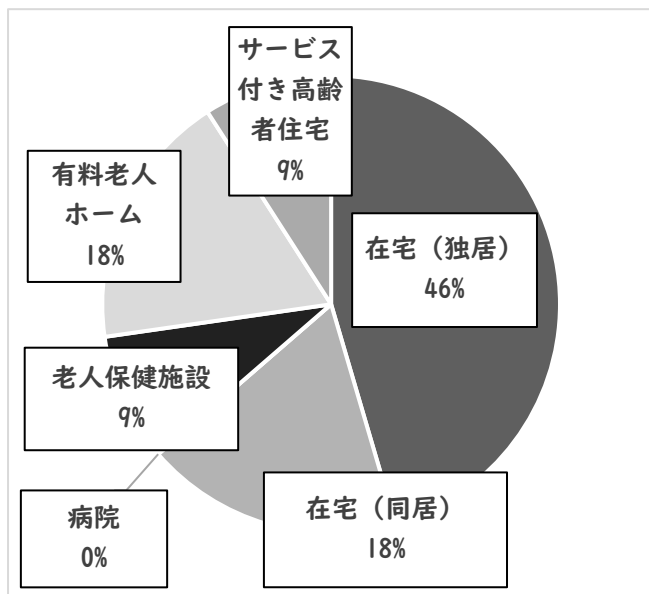
令和4年度は12人が入居され、入居前住居地は、高浜市（6人）刈谷市（2人）碧南市（1人）東浦町（1人）長野県（1人）三重県（1人）という状況であった。

このため、高浜市の入居は前年に続き60%以上を占めているが、「家族の住んでいる近くの施設に」と本人や家族の希望により移り住む状況も増えてきている。

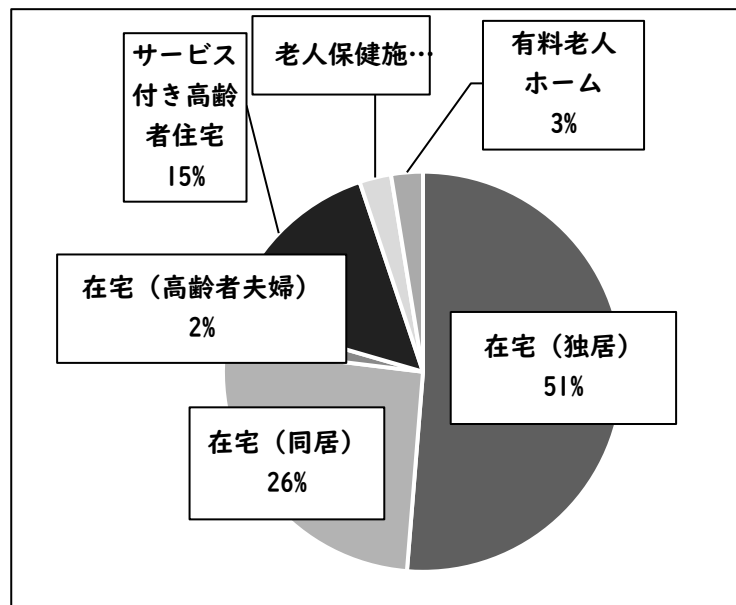
(3) 入居前の住居形態

(令和5年4月1日現在)

【男性】

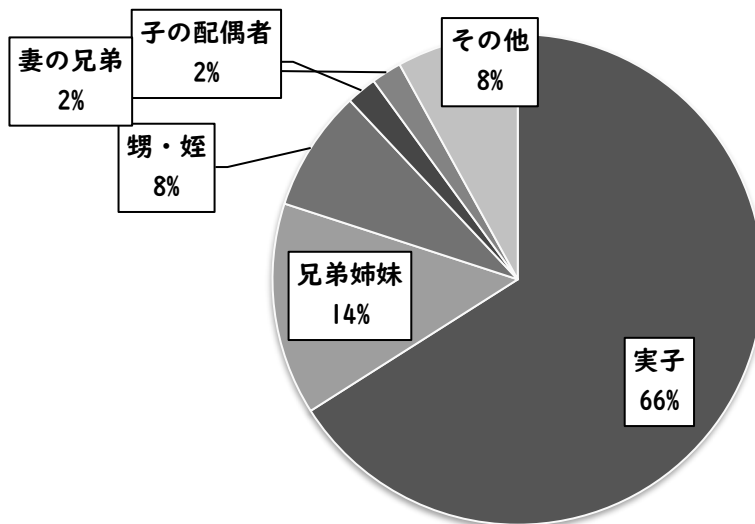


【女性】



(4) 身元引受人との続柄

(令和5年4月1日現在)



令和4年度に入居された入居前住居形態は、独居が8人、同居2人、有料老人ホーム1人、サービス付き高齢者住宅1人という状況であった。

身元引受人は、実子又は子の配偶者が前年度と変わらず約6割を超える。近年は、身寄りの無い方へNPO法人等の保証人団体が行うケースが増加傾向である。

3. 生活状況

(1) 年間行事実施状況（令和4年度）

月	日	行 事	参加人数
5		端午の節句イベント	中止
7		七夕イベント	中止
8	9	納涼会	39人
9	22	敬老祝賀イベント	45人
10	26	合同外出行事【芳川渡し場まつり】	◎22人
11	10	介護の日イベント	34人
12	19	年末大掃除	32人
	20	クリスマス会	39人
	26	忘年会	50人
	26	もちつき会	34人
1	12	新年会	中止
	6	初詣 春日神社	中止
2	3	節分会	32人
3	3	ひなまつりイベント	40人
	28	合同花見外出行事【吉浜神明社】	◎15人

※ 注：「◎印」…外出行事

年間行事平均参加人数：34.7人

昨年度に続き新型コロナウイルス感染予防のため、外出行事、ボランティア受入が中止となり、回数の減少となった。クラブ活動は状況を見ながらマスクを着用、手指消毒を行い、換気し密にならないよう感染予防対策を実施しながら行う事とした。入居者は外出の機会が減り施設内で過ごす時間が増えている。施設内で楽しめるよう納涼祭等を企画し少しでも楽しむ時間の提供に取り組んだ。

(2) 特定施設 お楽しみ外出 (令和4年度)

月	日	外出先	参加人数
4	28	フローラルガーデンよさみ	2人
5	31	花しょうぶ (油が淵)	5人
6	30	明石公園	3人
8	24	フローラルガーデンよさみ	2人
8	30	碧南臨海公園	3人
9	29	フローラルガーデンよさみ	3人
10	26	デンパーク	3人
11	8	人形小路	3人
12	8	鮎懐石みどり	2人
1	30	菜食健美 美卵 (お弁当) 集会室	5人
2	21	菜食健美 美卵 (お弁当) 集会室	3人
3	9	喫茶でデザート (ケーキ) 集会室	2人

延べ参加人数：36人

(3) 一般型 生きがい外出 (令和4年度)

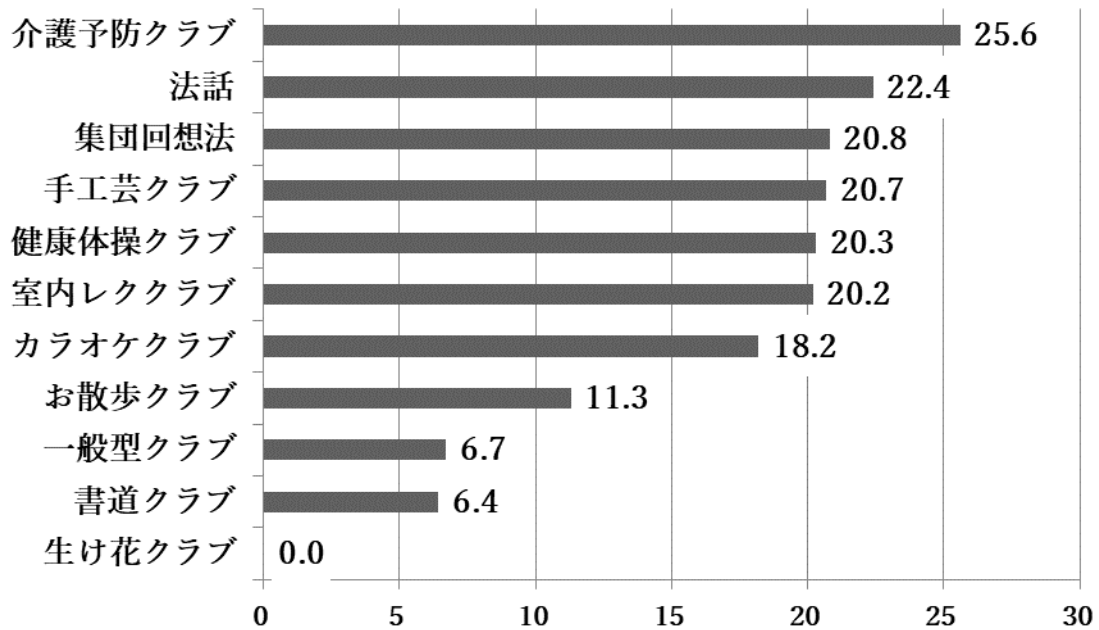
実施日	内容	参加人数
5月12日	かわら美術館	4人
7月15日	ファッションセンターしまむら	4人
9月29日	中止 (二十四の瞳 DVD 鑑賞)	9人
9月30日	中止 (古関裕而の CD 鑑賞)	7人
1月28日	中止 (風と共に去りぬ DVD 鑑賞)	10人
1月29日		10人

延べ参加人数：44人

(4) クラブ活動実施状況 (令和4年度)

①全入居者年間平均参加者数

〈平均参加者数：15.7人〉



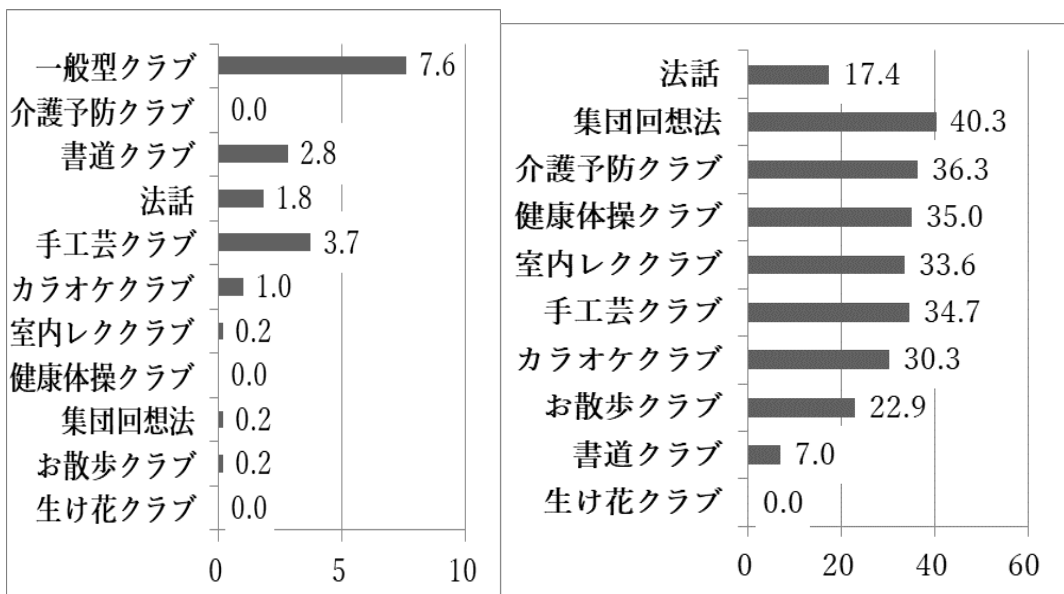
②サービス種類別入居者平均参加者数 (令和4年度)

『一般型入居者』

『特定施設入居者』

〈平均参加者数：2.4人〉

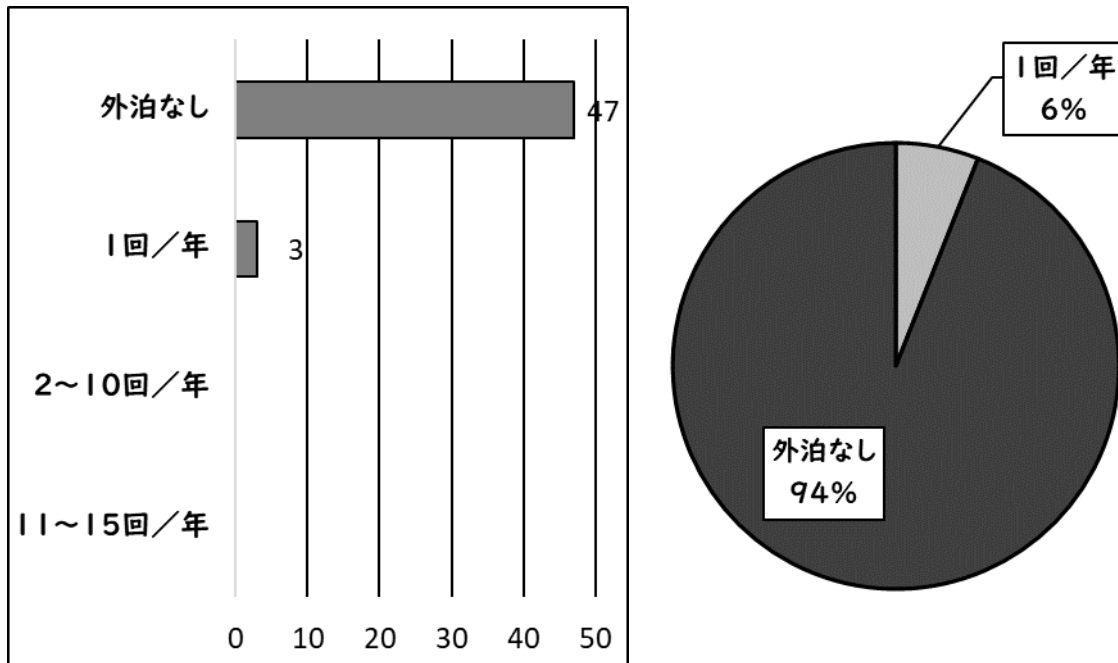
〈平均参加者数：14.6人〉



4. 外泊者・来訪者の状況

(1) 外泊者の状況(令和4年度)

*入院による外泊は除く



新型コロナウイルスの影響により、家族と外出する機会が減り外泊するケースはほとんどみられませんでした。令和4年度の外泊者（延べ人数）は法事や自宅に感染予防を行いながら3人の方が外泊されました。

(2) 外来宿泊者の状況（令和4年度）

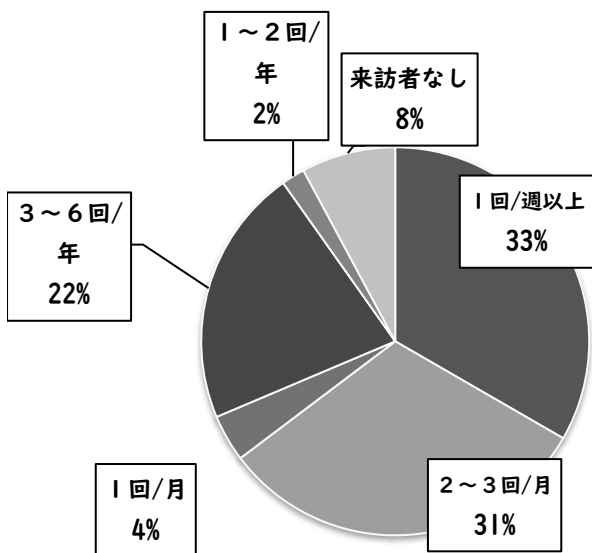
令和4年度の宿泊者数は新型コロナウイルス感染予防の影響もあり、家族、実習生等の利用はなかった。

当施設はゲストルームを一時的に自宅での生活が困難な方に緊急避難的な場所として福祉的利用ができるようしており、利用には至らなかったが問い合わせはあり、利用できる態勢は整えておきたい。

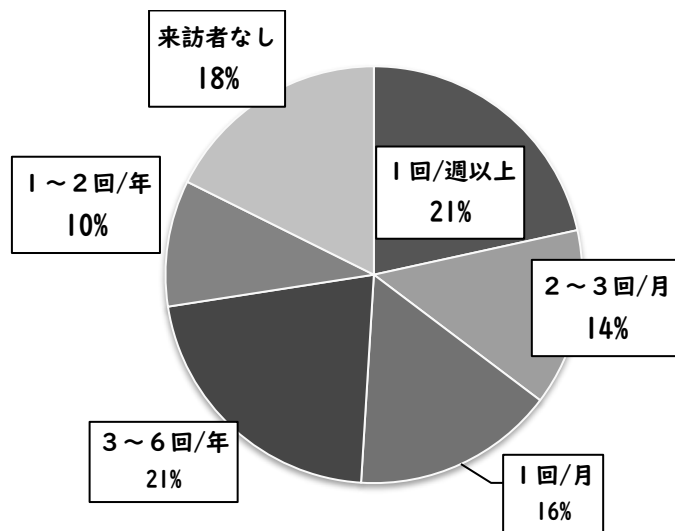
(3) 来訪者の状況 (令和4年度)

【総来訪者のべ人数】 1,478人 (令和3年度 1,128人)

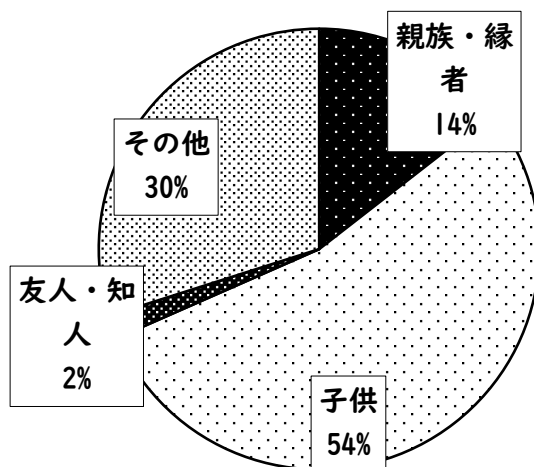
【親族来訪者のべ人数】 1,011人 (令和3年度 738人)



②親族来訪の頻度別状況



③来訪者との続柄



令和4年度の総来訪者は、前年度に比べ約300人増えている。親族（実子含む）の来訪者数も、約300人増えている。

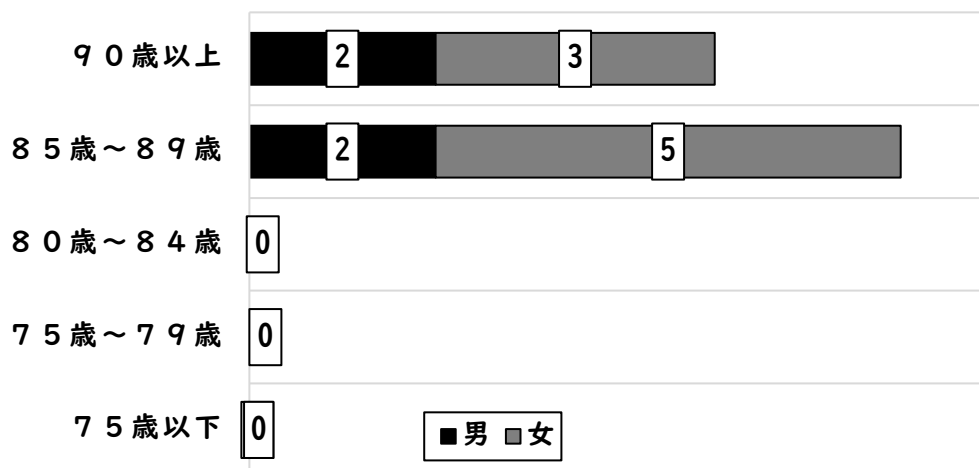
要因としては新型コロナウイルス感染の世情を見ながら面会を緩和してきたことによる。来訪者のその他は一般型に来るヘルパーや訪問看護の利用も含めている。

5. 健康状況

(1) 入院の状況（令和4年度）

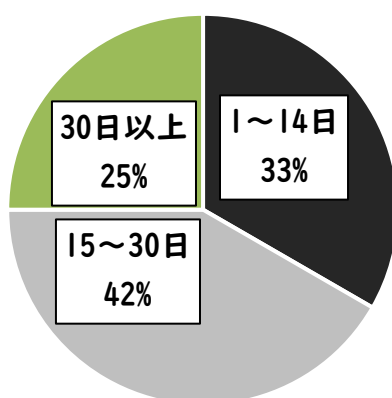
① 年齢別入院状況

※延べ人数



入院者のべ人数	12人
前年度入院者のべ人数	10人

② 日数別入院状況

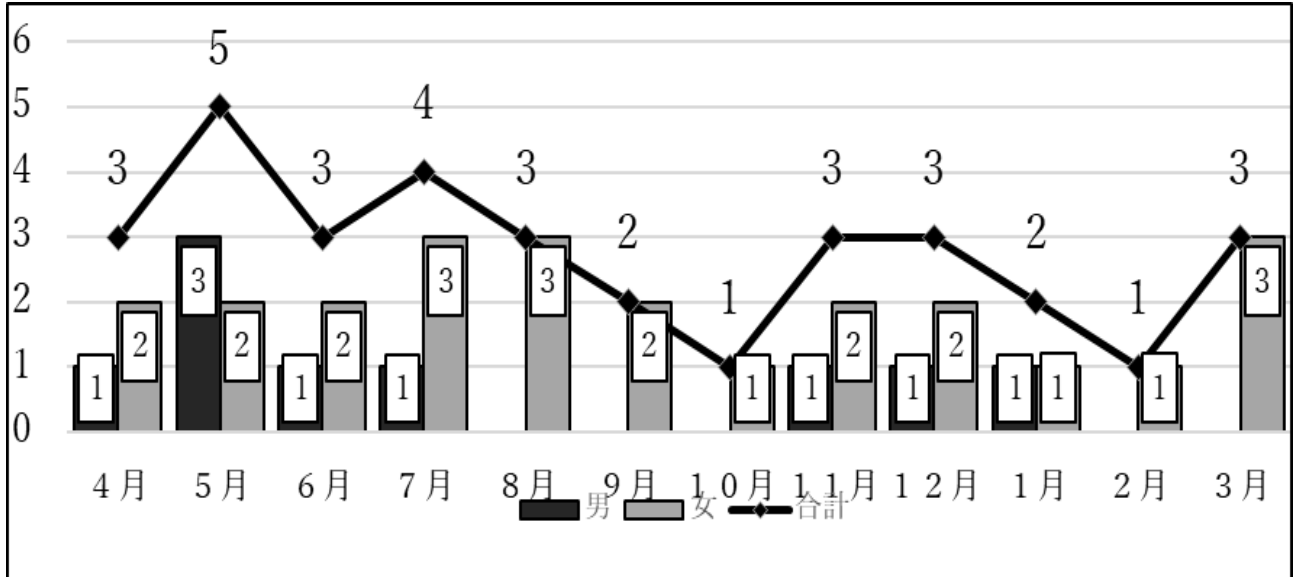


平均入院日数	18日
前年度平均入院日数	19日

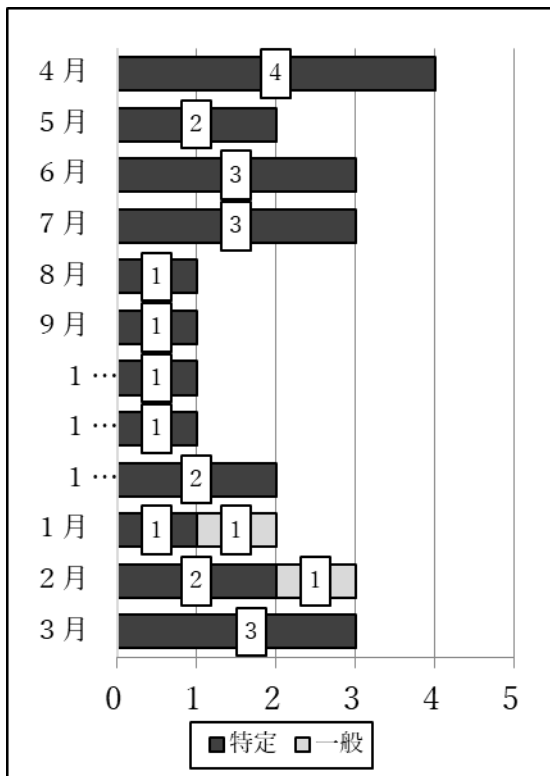
令和4年度の入院者数（延べ人数）は12人（男性4人 女性8人）で、前年度の10人（男性2人 女性8人）と比較すると多くなっている。平均入院日数については18日、前年度は19日となり、1ヶ月以上入院が6人と重症化がみられている。

③月別入院状況（令和4年度）

※延べ数
(人)

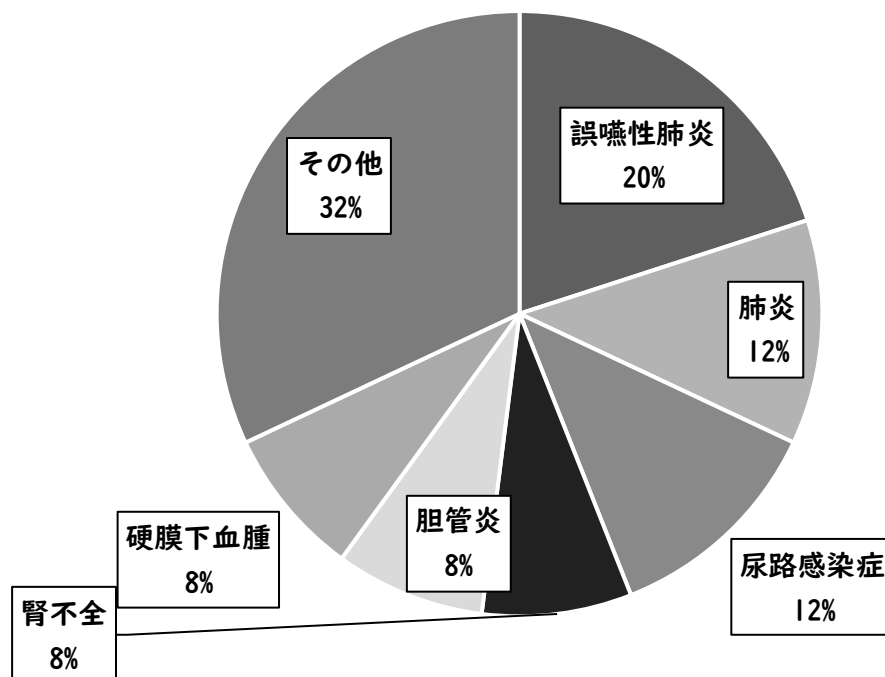


④サービス種別入院状況



*一般型の入院者は1人あり

⑤入院原因の状況



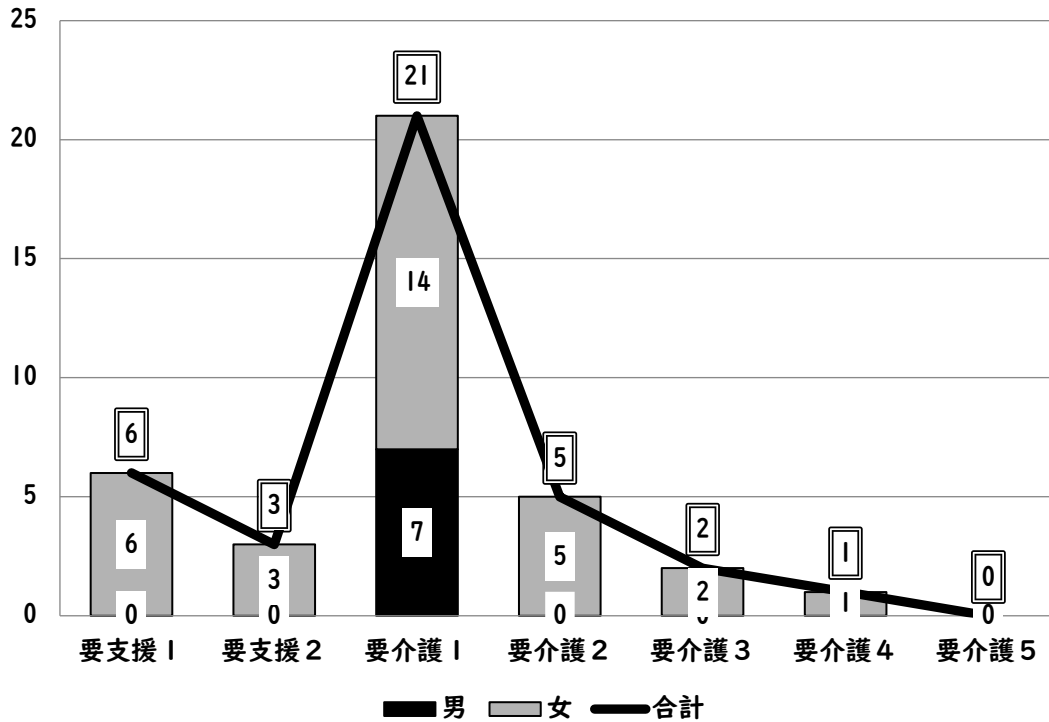
令和4年度は、同じ入居者が肺炎による入院を繰り返している。骨折による入院件数は0件であった。居室内での転倒防止対策として、常時見守りが必要となる場合はベッドセンサーで対応し、行動パターンや動作時にすぐ対応する事で事故防止に努めている。
その他には、認知症による行動・心理症状の混乱による入院も含まれている。

6. 入居者の要支援・要介護認定状況

(1) 全入居者の要介護認定状況

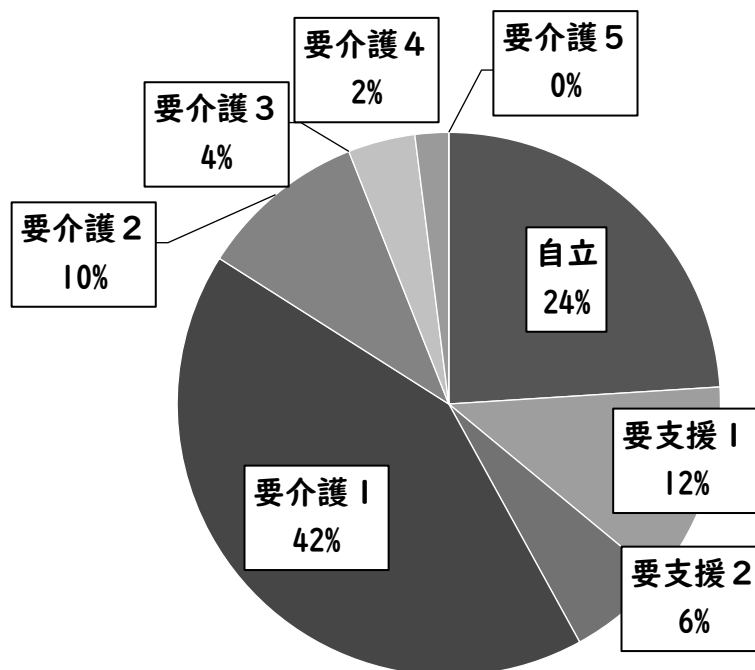
(人)

(令和5年4月1日現在)



<全入居者の要支援・要介護認定実施状況>

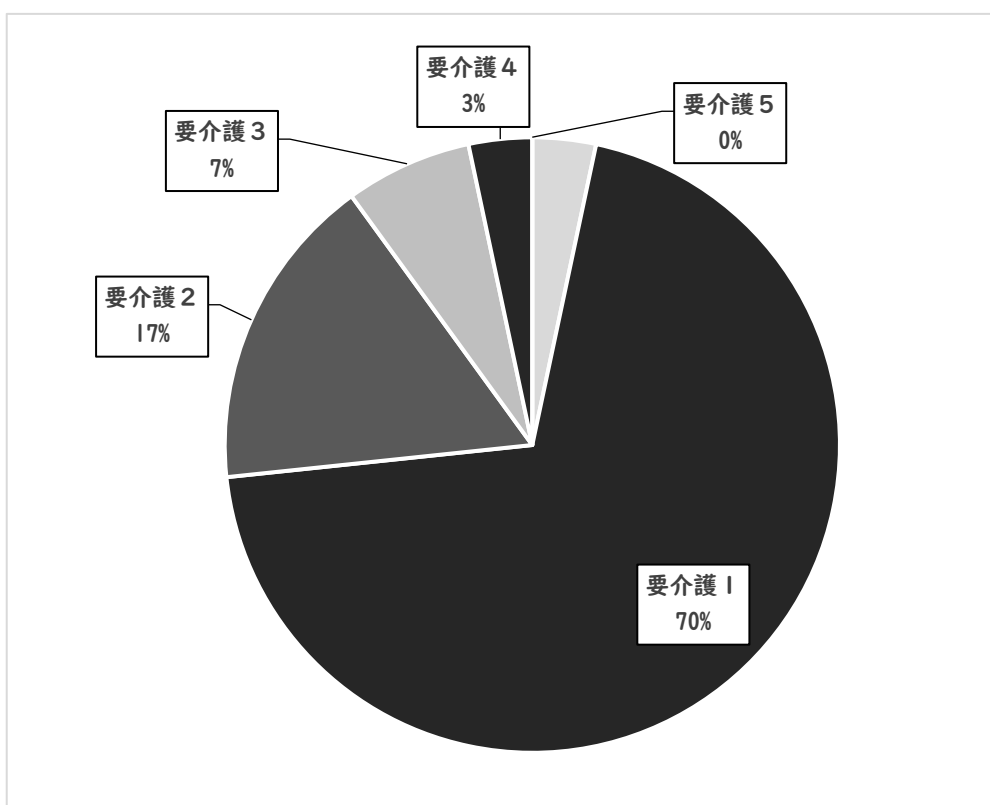
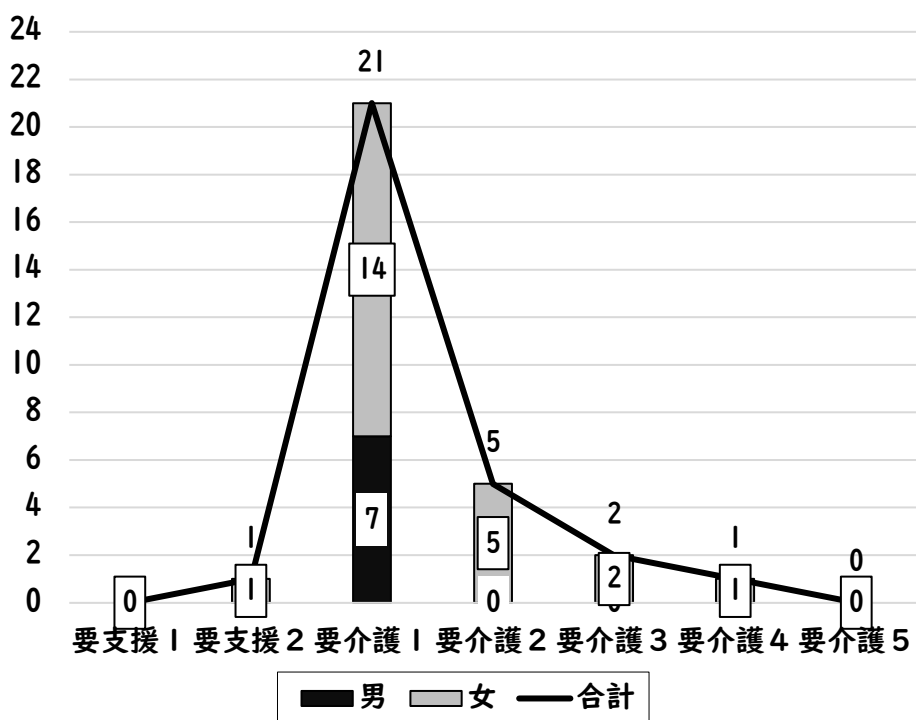
(令和5年4月1日現在)



(2) 特定施設入居者の要介護認定状況

(令和5年4月1日現在)

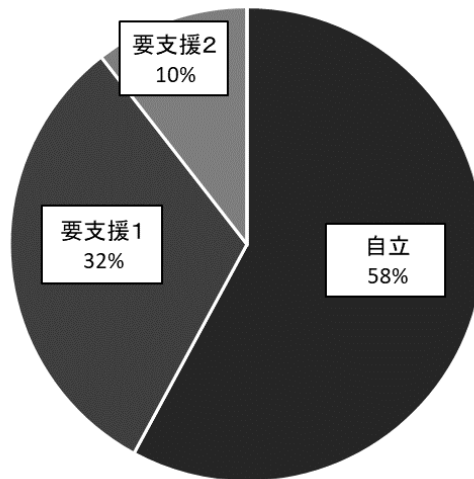
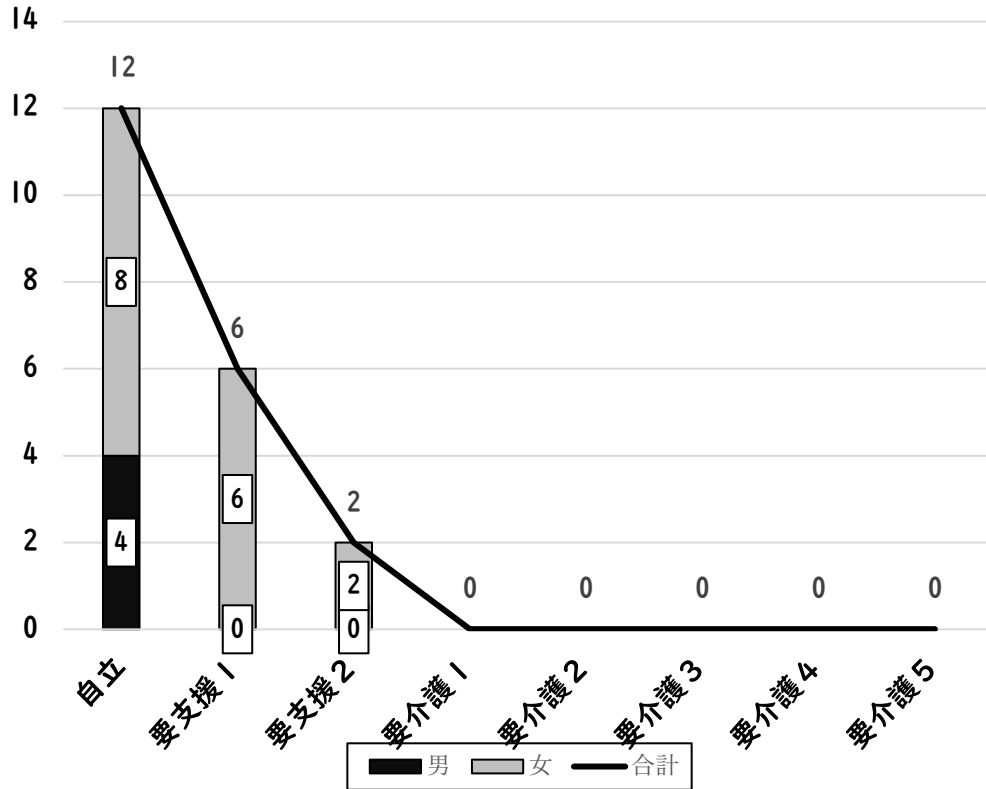
(人)



(3) 一般型入居者の要介護認定状況

(人)

(令和5年4月1日現在)



令和4年4月1日現在の要支援・要介護認定者数は38人で、前年度同月(39人)より減少している。

特定施設入居者については、前年度に比べると要介護3～5の入居者は5人から3人と減少している。入居者の入退居もあるが、寝たきり、認知症の介護予防を行い、重度化を招かないよう取り組んでいる。

また、一般型入居者においては、要介護認定者数は大きく変わりはない。デイサービス等の外部サービスを利用する入居者もいる。

7. 地域交流事業

(1) ボランティア及び慰問の状況（令和4年度）

慰問・奉仕の内容	回数	慰問・奉仕者
書道クラブ 指導	年8回	個人
昔の高浜を写真にしたスライドショー	年1回	個人

(2) 地域行事・地域活動への参加の状況（令和4年度）

実施内容	回数	参加人数
渡し場かもめ会海岸清掃 渡し場まつり手伝い 防犯パトロール 地域清掃活動等	年22回	26人（延べ人数）

(3) 施設設備の地域開放の状況（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会室(回)	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4
談話室(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※集会室利用は主に地域活動の会合等で使用

8. 防災対策の状況(令和4年度)

実施日	実施内容	参加者
4/3	防災設備取り扱い方法(新人研修)	職員1人
5/2	通報訓練	職員12人
6/23	避難訓練(昼間火災想定)	職員12人
7/4	通報訓練	職員10人
8/25	避難訓練及び通報訓練	職員10人 入居者46人
8/25	防災勉強会	入居者30人
9/5	通報訓練	職員10人
9/7	AED訓練	職員10人
10/17	昭徳会合同防災訓練 (地震・津波)	職員10人 入居者33人
11/6	防災フォーラム	職員2人 入居者2人
11/7	通報訓練	職員9人
1/4	通報訓練	職員12人
3/6	通報訓練	職員10人
3/24	避難訓練(夜間想定)	職員2人 入居者47人

コロナ禍のため、密にならない方法を検討しながら、避難訓練、防災勉強会等を開催した。

9. 職員研修の状況(令和4年度)

(1) 施設外開催研修

開催月	研修名	内容	開催場所	参加対象	参加人数
4月	監督者研修Ⅰ	承認研修	法音寺	課長	1名
5月	GL研修	労働関係法令の基本的理解	法音寺	GL	1名
6月	認知症ケア	超高齢化社会での認知症ケアの姿を求めて	Web	所長	1名
	BCP研修	BCPの作成のノウハウと活用ポイント	森田経営	所長	1名
	初任者研修	コミュニケーション(自己表現)キャリアパス概要図	法音寺	介護員	2名
7月	エキスパート研修	①理事長講話②事務局長講話③ハラスメント	法音寺	介護員	2名
8月	BCP策定研修①	BCPの作成	いきいき広場	課長	1名
	監督者研修Ⅱ	労働関係法令 キャリアパス概要 法人課題	法音寺	課長	1名
9月	中堅職員研修会	どうすれば信頼される福祉リーダーになれるか	Web	介護員	1名
	初任者研修①	コミュニケーション(報連相)	法音寺	事務員	1名
	法人分野別専門研修	認知症について	安立荘	介護員	1名
10月	BCP策定研修②	BCPの作成	いきいき広場	課長	1名
	BCP策定研修③	BCPの作成	いきいき広場	課長	1名
	学習療法オンラインセミナー	学習療法の取り組み	WEB	介護員	1名
	外国人職員研修	日本・アジアの食文化について	法音寺	介護員	1名
	自立支援総合研修	介護職場における口腔ケアについて	WEB	介護員	1名
11月	GL研修	GLの悩みを踏まえたアドバイス	法音寺	GL	1名
12月	施設長・事務員研修会	制度改正の行方	ウインクあいち	所長	1名
	防災・減災教育実践者研修	社会福祉法人における職員の防災・減災力の向上	日本福祉大学	所長	1名
1月	福祉経営機構オンラインセミナー	社会福祉法人の経営力強化	WEB	所長	1名
3月	苦情解決制度推進研修会	苦情対応に求められる法律に関わる知識	WEB	課長	1名
	法人事務員意見交換会	意見交換会	法人本部	事務員	1名
	提携社会福祉法人サミット	孤独・孤立対策と社会福祉法人の役割	WEB	課長・GL	2名

(2) 施設内開催研修

開催月	研修名	内容	開催場所	参加対象	参加人数
4月	新任職員研修	基本的知識について	施設内	新任職員	1名
5月	サービス向上内部研修	虐待	施設内	当施設職員	8名
6月	サービス向上内部研修	食中毒蔓延防止委員会	施設内	当施設職員	9名
7月	課題研修	SDGs研修	施設内	当施設職員	16名
8月	サービス向上内部研修	介護技術・認知症	施設内	当施設職員	9名
9月	サービス向上内部研修	心肺蘇生・AED	施設内	当施設職員	13名
10月	サービス向上内部研修	感染予防(インフルエンザ)	施設内	当施設職員	6名
11月	サービス向上内部研修	BCP訓練・自然災害・感染症発生時	施設内	当施設職員	9名
12月	サービス向上内部研修	感染予防(ノロウイルス)	施設内	当施設職員	9名
1月	サービス向上内部研修	身体拘束・虐待	施設内	当施設職員	9名
2月	サービス向上内部研修	応急手当勉強会	施設内	当施設職員	6名
3月	サービス向上内部研修	看取り	施設内	当施設職員	5名

令和5年度 事業計画書（ケアハウス高浜安立）

1. 事業運営基本計画（事業目標）

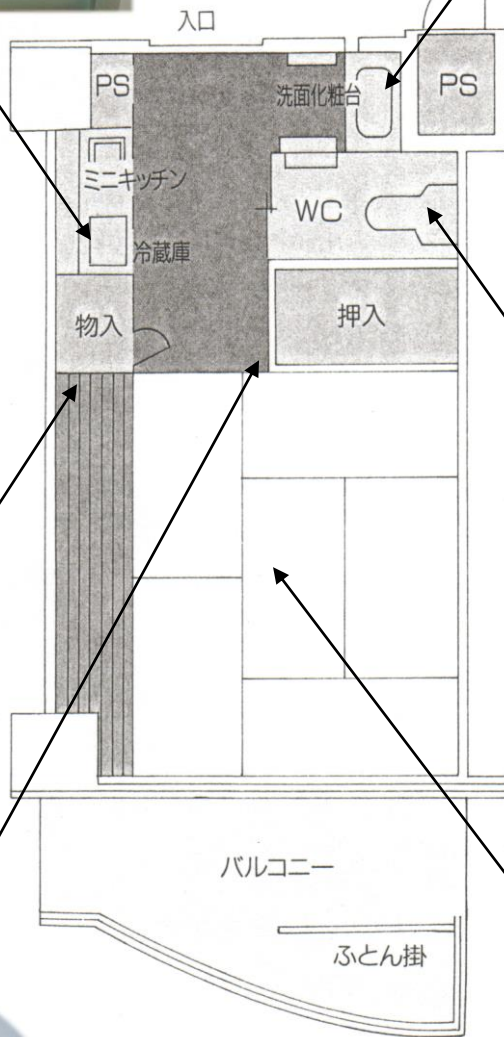
- (1) 昭徳会理念の実践により、利用者及び職員ともに喜びを持てる環境整備の構築
- (2) 安定的な収支バランスの構築
- (3) 地域と共に成長できる組織体制の構築
- (4) 介護技術・コミュニケーション能力の向上
- (5) 大規模震災に備えた危機管理体制の確立

2. 具体的計画

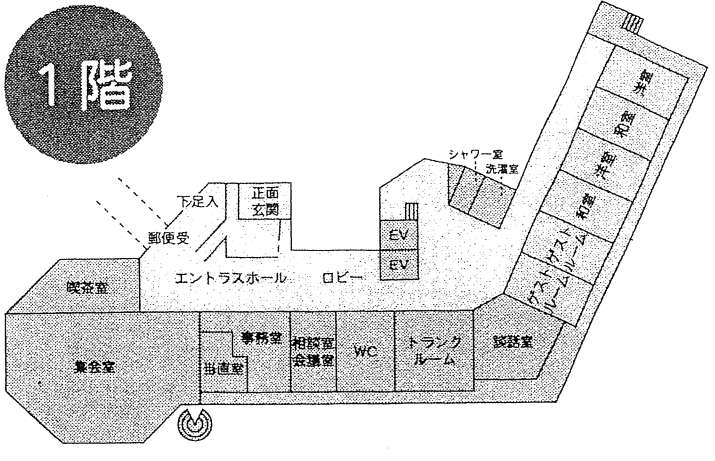
- (1) 昭徳会理念の実践により、利用者及び職員ともに喜びを持てる環境整備の構築
 - ①介護負担軽減につながるような効果的な介護ロボット及びICTの有効活用を行う
 - ②感染症対策に留意しつつ利用者及び職員が楽しみを分かち合える行事を企画し実施する
 - ③利用者の転倒予防につながる介護予防、リハビリ機能を検討し実施する
 - ④腰痛予防に関する研修等を実施する
- (2) 安定的な収支バランスの構築
 - ①適正な人員配置を行い収支バランスにあった人件費比率となるようにする
 - ②収支を常に意識した上で、稼働率状況を適宜把握し情報共有を行い協議を行う
 - ③多職種協働で利用者の状態把握に努め入院期間の短縮等により安定的な稼働率とする
 - ④利用者の満足度調査を実施し適切なニーズ把握に努めサービスの質向上につなげる
- (3) 地域と共に成長できる組織体制の構築
 - ①SDGsの学習機会を引き続き行い、地域活動の参加機会を増やす
 - ②高齢者分野以外（障がい・児童・保育）に関する研修の機会を作り、地域共生社会について学ぶ機会を持つ
 - ③町内会や近隣住民及び外国人コミュニティとの交流の機会を持ち、顔の見える関係を作る
 - ④地域の生活困難者等に対し緊急受け入れをゲストルームの活用で行う
- (4) 利用者の状況に応じた介護技術・コミュニケーション能力の向上
 - ①外部研修等の機会を持ち、介護技術及びコミュニケーション技術を学ぶ機会をもつ
 - ②効果的なカンファレンスの開催について内部研修及び外部研修により学び、多職種協働で利用者の状態把握に努める
 - ③認知症介護基礎研修受講が必要な職員に対して、計画的に受講できるようにする
 - ④介護職員中心に喀痰吸引研修に参加できるようにする
- (5) 大規模震災に備えた危機管理体制の確立
 - ①大規模震災や津波想定訓練のみならず、様々な災害に対応できる訓練を実施する
 - ②利用者とともに防災教育を実施し、その上で様々な災害を想定した訓練を実施する
 - ③防災フォーラムの共同開催に参加し、地域の方と共に防災について学ぶ
 - ④災害時に備え、非常食等の備蓄を引き続き充実させる
 - ⑤町内会との防災協力協定について検討する

【居室平面図（和室例）】

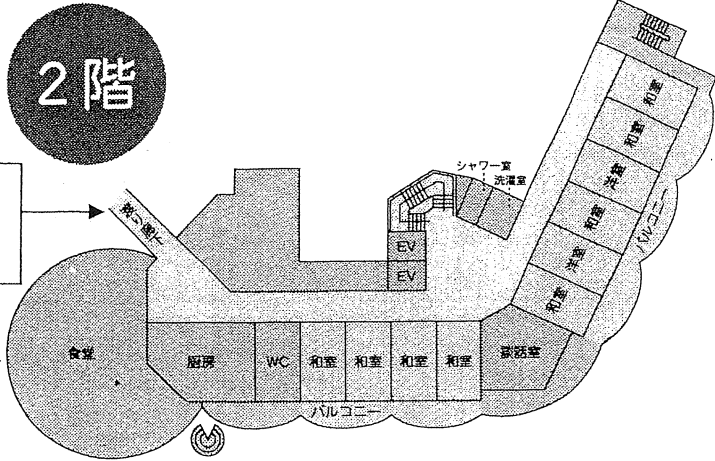
居室面積 22.05㎡



【平面図】

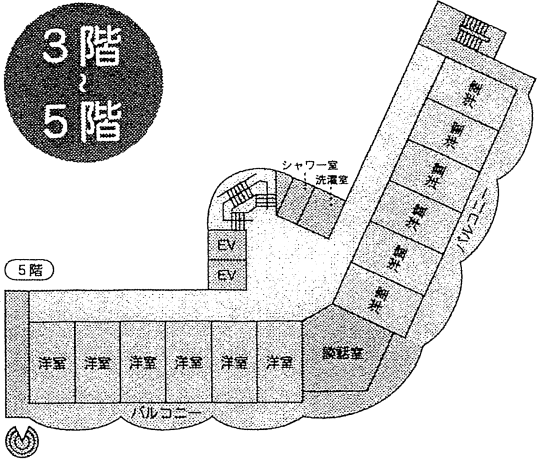


集会室
98.5 m²



特別養護老人ホーム
高浜安立荘へ

食堂
130.6 m²



- 3階および4階はすべて和室で計24室あります。
- 5階はすべて洋室で12室あります。

